

“頼られる人になりたい！そのためには学びが必要”



森 敬子（日田市）

平成25年就農
梅、ゆず、水稻
加工品（梅干し、柚子胡椒ほか）



就農のきっかけと現在の取組

農家の娘として、小さい頃から農作業の手伝いはしていましたが、家業を継ぐことは想像しておらず金融機関に就職しました。年を取りつつも農業を頑張っている父母を支えたい思いが年々ふくらみ、40歳を機に就農することを決めました。

最初の数年間は父から栽培技術を学び、その後、母から、梅干しや柚子胡椒などの伝統的な保存食の加工技術を教えてもらいました。今は、一緒に作業しながら積極的に商品開発や販路拡大を図っています。昨年、事業継承を行い、二人が元気なうちに少しでも技術を習得したいと思います。

親戚から「もっと農業を勉強した方がいい」との助言を受け、農業委員に立候補し、今年から農地利用最適化推進委員として活動しています。農業委員の仕事はまだまだ分からないことだらけですが、農業や地域を理解するため、また周りから頼られる人になるために日々勉強中です。

時代に合わせた保存食の在り方を追求し、昔ながらの食文化を継承することに全力で挑戦し、日田市大山町から伝承の産品をお届けしていきます。

HP：<https://morishokuhin.com/>

今後の展望と皆さんへ一言

商品の良さや価値を理解してもらって、利益の出る経営にしていきたいです。

農業でも週休2日は実現可能であり、昔のような3K（きつい、汚い、危険）でもありません。私は金融機関にいたので融資関係の知識が役に立つ場面もあり、他の仕事をしている方もその経験がきっと農業で活かせることがあると思います。経営は自分で創れます！



令和5年12月作成

農林水産省HP「経営継承」

農地や機械・設備等とともに、技術・ノウハウ・人脈等を次の世代に引き継いでいくのは計画的に行うことが必要です。農林水産省では計画的な経営継承に必要な経費を市町村と一体となって支援しています。詳しくは右のQRコードからご覧ください。

農林水産省HP
「経営継承」

